

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立小松川中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	46.2%	55.1%
令和 7 年度の目標	43.2%	52.1%
令和 6 年度の結果	36.9%	49.1%
令和 5 年度の結果	41.2%	44.1%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	53.0%	56.1%	61.1%
第 1 学年	56.1%	46.8%	50.5%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・ ICTの活用、授業形態、学習形態等を工夫し、魅力ある授業を実践するために、研修を充実させる。 ・ 各授業の1時間で一度は「生徒一人一人に自分で考え、その考えを表現する場面」を取り入れた指導を行う。	・ ミライシードの活用。 ・ 放課後補習授業の活用。 ・ 日々の授業の授業規律の確立と、家庭学習習慣の定着を目指す指導を行う。	・ 一人1台端末、デジタル教材の積極的な活用。 ・ 毎日の記録の確認を通し、日々の学習状況を把握し、助言を行う。 ・ 定期考査二週間前より、学習予定表を作成し、実行できるようにサポートする。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・ 年度始めに特別な配慮が必要な生徒の情報を共有する。 ・ 特別支援教育推進委員会等で、配慮が必要な1人1人の生徒の特性を理解し、本人を支えていく体制を整える。 ・ 放課後・夏季休業中補習教室を実施して学習のフォローを行う。	・ 放課後補習授業（数・英）。 ・ ミライシードの活用。	・ 「江戸川っ子study week!」の取り組み ・ ミライシード（ドリルパークの個別問題）に取り組む。
成果指標	・ 校内の授業アンケートで、「授業内容がよくわかる。だいたいわかる。」の項目 90%以上	・ 全国学力調査質問用紙 「授業の内容はよくわかりますか」 肯定的な解答の割合 85%以上 ・ CD層（国・数・英） 40%以下	・ 全国学力調査質問用紙 学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上の解答割合 75%以上